

令和4年度 福岡県高等学校バスケットボール新人大会

(兼 全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会福岡県予選会)

新型コロナウイルス対策ガイドライン

(参加選手・チームスタッフ・チーム応援者・その他来場者用)

※ 本ガイドラインは、上記大会実施において留意点等をまとめたものであり本大会の活動に対して拘束力を持つ

※ 大会参加者(選手、チームスタッフ)、その他入場者は以下の項目を遵守すること

- ◎最も大切にしなければならないことは、バスケットボール活動において『**集団感染(クラスター)・感染拡大を起こさないこと**
誹謗中傷を生み出さないこと』です。
- ◎バスケットボール活動を行って良いのは「**感染していない者**」が大前提です。健康チェックシートに該当の項目がある場合は、**大会への参加・会場への入場を見合わせてください。**

I 大会参加について

- 1) 本大会に出場するチーム・選手は、本大会が定めるガイドラインの各種事項について遵守するものとし、虚偽等一切あってはならない。
- 2) 大会に参加するチームは「**感染対策責任者**」を設置し、以下の内容について遵守すること
 - 「**感染対策責任者**」は、**引率責任者**もしくは**部顧問**とする
 - 本大会2週間前から、自チームの検温・健康チェックを徹底させること
 - 大会当日、顧問は会場入りするメンバーの健康チェックシート(チーム用)により必要事項の確認を行い、健康チェックシートを回収、サインの後、受付に提出し入場の許可をもらうこと
 - (健康チェックシートに虚偽の報告があった場合、大会参加資格の剥奪等の処分を下します)
 - 大会期間中・大会後2週間以内にチーム内で陽性者・濃厚接触者・体調不良者が発生した際は、所属長(学校長)、主催者(各ブロック専門委員長)に対して速やかに報告すること
 - ※連絡については、**感染または、感染の疑いがある場合の報告フローを参照のこと**
- 3) 新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した際は、試合中であったとしても出場資格を取り消す場合がある
- 4) 新型コロナウイルス感染症と疑われる体調不良者が発生した場合は、その者の来場と試合への出場を不可とする。(最終的な大会参加の決定は、各地域の保健所等の判断を仰ぎ、当該チームの学校長の判断に委ねられます。)
- 5) 政府及び福岡県から新たな措置(緊急事態宣言や自粛要請等)が発生された場合は本大会を中止、または延期、大会規模を縮小して実施する場合がある。その際、大会中止等の可否を決定後、速やかに参加チームに通知する。

6) 大会参加、会場入場の条件

- (1) 参加生徒(大会に参加する生徒は、以下の3点を満たしていること)
- ①「大会参加申込書」「大会参加 部員名簿」に記名があり学校長の許可を得ている生徒
 - ②『2022年度チームメンバー一覧表』に記載がある生徒
 - ※「Team JBA(JBA 会員登録管理システム)」に登録された生徒
 - ③ 健康チェックシートに必要事項を記載し、保護者の承諾(参加同意書を学校に提出)を得ている生徒
- (2) 専門部に事前に連絡を行い、入場を許可された者
- (3) 各チームの顧問に「チーム応援者」として承認された後、所定の「健康チェックシート(チーム応援者用)」に必要事項が記載され、専門部に入場を許可された者
- (4) 事前の検温・健康チェックを済ませ、受付で健康チェックシートを提出し許可を得た者
(役員、審判、引率責任者、コーチ、Aコーチ、トレーナー、報道関係者など、来場者全員)

以下の該当項目が1つでもある場合は参加を自粛すること

- 発熱(発熱とは原則37度5分以上の熱)
- 咳やのどの痛みなどの風邪の症状
- だるさ、倦怠感、息苦しさ(呼吸困難)
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等
- 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
- 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいるか
- 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある。

※ 回収した健康チェックシートは、感染対策を目的とした緊急時の使用に限り、それ以外の目的では使用しません。大会後は、チームの感染対策責任者が責任を持ち保管し(最低1か月)、必要がなくなった場合シュレッダーで破棄します。

2 感染対策について

(1)選手、チームスタッフ、すべての来場者は、感染防止のために以下の項目について遵守すること

① 来場中に注意すること

- 各チーム、決められた時間に会場すること(来場時間は大会決定事項で確認すること)
- 会場への移動の際は、感染防止のため適切な行動を心がけること
- マスクを持参し、ウォーミングアップ中、競技中以外は常時マスクの着用を徹底すること
(マスクについては、不織布マスクを推奨します。)
- こまめな手洗い、うがい、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること
- 更衣室の使用は原則更衣のみとし、長時間使用することがないようにすること
(更衣中もマスクを着用し、会話を慎むこと)
- 会場内で大きな声で会話、応援等を慎むこと
- 会場での食事は、原則禁止する
- ゴミは各自で持ち帰ること

② 試合中に注意すること

- ベンチ等では距離(できるだけ1m以上)をとり座ること
- 応援場所については、会場責任者の指示に従うこと
- 応援の際はマスクを着用し、周囲と適切な距離(できるだけ1m以上)を空けて応援を行うこと
- ベンチ席、応援席からの大きな声での指示や応援は慎むこと
- TO席、モップ等の補助役員も距離(できるだけ1m以上)を空けて座ること
- 水筒や飲料用ボトル、タオル等の共有はおこなわないこと(マイボトル、マイタオルを準備する)
- ※ 個人用のかごを作る等の工夫を行い、個別に取り扱うように意識を高めさせる
- ハイタッチ、握手、肩組み(ハドル・円陣)などの接触は行わないこと
- 審判を行う際は、原則ホイッスルカバーを着用する。また、マスク着用の上、電子ホイッスルの使用も可とする

③ 試合終了後に注意すること

- ベンチ、TO等の共有物は、試合終了ごとに使用したチームが消毒を行うこと
- 手洗い、うがい、洗顔等を行い感染防止に努めること
- 更衣後、使用した更衣室は、消毒、換気を行い速やかに帰宅すること

※ 感染防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと

3. 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応

1) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者の定義

○「陽性者」とは、以下の症状の有無にかかわらず、「PCR 検査・抗原検査により新型コロナウイルス感染症と診断された者」を指します。

【新型コロナウイルス感染症が疑われる症状】

発熱、咳、呼吸困難、全身倦怠感、咽頭痛、鼻汁・鼻閉、頭痛、関節・筋肉痛、下痢、嘔気・嘔吐など

○濃厚接触者の定義（2022年4月7日現在）「濃厚接触者」とは、「患者(確定例)」（「無症状病原体保有者」を含む。以下同じ。）の感染可能期間に接触した者のうち、次の範囲に該当する者である。

- ・患者(確定例)と同居あるいは長時間の接触(車内、航空機内等を含む)があった者
- ・適切な感染防護無しに患者(確定例)を診察、看護若しくは介護していた者
- ・患者(確定例)の気道分泌液もしくは体液等の汚染物質に直接触れた可能性が高い者
- ・その他: 手で触れることのできる距離(目安として1メートル)で、必要な感染予防策なしで、「患者(確定例)」と15分以上の接触があった者(周辺の環境や接触の状況等個々の状況から患者の感染性を総合的に判断する)。現在(2022年4月7日)では、濃厚接触者の判定に保健所は介入しない場合があります。

●濃厚接触者のバスケットボールにおける特定例(保健所によって異なる対応が見られることを前提に)を紹介します。

- ・マスクなしで同一時間帯のスクリーメージを行ったメンバー(自チーム、相手チーム)
- ・マスクなしで飲食を共にした
- ・マスクなしで更衣を共にした

○「体調不良者」とは、以下の目安に該当する方と考えられます。

厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。

1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
3. 比較的軽い風邪が続く。

※ 発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

2) 事前の対応

(1) 感染対策責任者(担当者)の設置

- ・福岡県高体連専門部及び参加者(チーム)はそれぞれ感染対策責任者(部顧問)を設置し、事前・事業実施・事後に相互に連絡を取り合える環境を構築します。
- ・感染対策責任者(担当者)は本大会の対応だけでなく、日常のチーム活動において健康チェック、検温を選手やスタッフが行うことを管理し、陽性者や濃厚接触者が発生した際の保健所との情報連携を行う担当となることが求められます。感染してから対応を考えるだけでなく、いかにして陽性者を出さないようにするかの対応をお願いします。

(2) 参加者の連絡先の管理

- ・福岡県高体連専門部、または各チームの感染対策責任者は、参加者の連絡先の管理を行います。個人情報になりますので、個人情報保護法の以下のルールに則って適切に管理をします。

- ・ 本大会でのみ個人情報を取り扱い、必要がなくなった場合、適切な方法でデータ、もしくは書類を破棄する（書類の場合はシュレッダーにかける、データの場合はバックアップ含め完全に消去する）。
- ・ 参加者の連絡先は感染症対策を目的とした緊急時の連絡等の使用に限り、それ以外の目的では使用しない。
- ・ 情報が漏洩しないよう管理する。具体的な方法例としては
 - 紙で管理している場合は、鍵のかかる引き出しに保管する
 - パソコン等で管理している場合は、ファイルにパスワードを設定する
 - セキュリティ対策ソフトウェアを導入する

【 参 考 】 個 人 情 報 保 護 委 員 会 ： 「 個 人 情 報 保 護 法 ハ ン ド ブ ッ ク 」

https://www.ppc.go.jp/files/pdf/kojinjouhou_handbook.pdf

(3) 参加者への感染症対策の事前共有

- ・ 競技会・講習会の主催者は、会場や感染状況などに応じて参加者用のガイドラインを作成し、福岡県高体連ホームページに掲載し、参加チームへ事前共有を行います。また、顧問会議等においても、感染症対策についての注意喚起を行います。

(4) 健康チェックシート

- ・ 参加者は、競技会・講習会が開始される 2 週間前から「健康チェックシート」「コンディション記録用紙」に健康状態を記録する必要があります。感染対策責任者（担当者）はこの管理を行ってください。
- ・ 2 週間前からしていますが、健康観察に意識を持って頂くためと、以前は陽性になった場合には 14 日間の隔離が必要であったことからの期間設定となっています。引き続き、健康チェックは 2 週間前から行うことを改めて認識してください。

(5) 以下の事項に該当する場合の自主的な参加の見合わせ（大会にチェックシートにて確認）

- ・ 体調不良の場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ・ 濃厚接触者である疑いがある場合（例：同居家族や身近な人に感染が疑われる方がいる）
- ・ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察機関を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある場合

(6) 大会参加者全員のマスク常時着用

(7) 福岡県高体連専門部が示す注意事項の遵守

(8) 本大会終了後に新型コロナウイルス感染症を発症した場合の速やかな報告

(9) 事業実施中は可能な限り行動記録を記載（陽性者発生の際の濃厚接触者特定に役立ちます）

4. 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が判明した場合の対応

1) 陽性者/濃厚接触者/体調不良者が出た場合の考え方について

- ・最も大切にしなければならないことは、バスケットボール活動によって「集団感染(クラスター)・感染拡大を起さないこと・誹謗中傷を生み出さないこと」です。
- ・バスケットボール活動を行って良いのは「感染していない者」が大前提です。バスケットボール活動では、感染している者がいる中では感染対策を行っても感染しないようにすることは大変困難です。
- ・大きな症状が見られなくてもウイルスに感染している可能性があり、軽い風邪の症状を見逃さないことが大切です。熱中症と風邪の症状、感染症状は似ています。従って体調がおかしいと感じたら「積極的に休むこと」です。
- ・指導者・選手は練習を休むことに抵抗がある方もいるかもしれませんが、現在はこれまでの状況とは異なる状況にあることを受け入れてください。集団感染が発生すればより大きな支障が出ます。従って「やりたくとも辛抱すること」を指導者が選手に伝え、チーム全体の理解を促してください。
- ・大会前だけでなく日常的にチーム内に感染対策責任者(担当者)をおき、選手スタッフの健康チェックのみならず、選手スタッフのご家族の健康状況に変化がないかについても情報収集を心がけ、チーム内でクラスターが発生しないように注意を払ってください。

2) 体調不良者への対応

(1) 新型コロナウイルス感染が疑われる体調不良者への対応

- ・厚生労働省が発表している以下いずれかの目安に該当する方は、「帰国者・接触者相談センター」に相談してください。地域によっては医師会や診療所等で相談を受け付けている場合があります。
- ・症状が強い場合は、翌日まで待たずにセンターへ相談、または病院受診を検討してください。
 1. 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱などの強い症状のいずれかがある場合。
 2. 重症化しやすい方(高齢者や基礎疾患がある人)で、発熱やせきなどの比較的軽い風邪症状がある場合。
 3. 比較的軽い風邪が続く。※ 発熱症状が出ない感染ケースもあるため、上記症状を感じた場合は必ず相談してください。

【厚生労働省・健康や医療相談の情報】 https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/kenkou-iryousoudan.html#h2_1

【帰国者・接触者相談センター】(令和2年7月31日時点版)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/covid19-kikokusyasessyokusya.html

- ・上記の目安に該当せず、「帰国者・接触者相談センター」や医師会、診療所等で相談を受けずに自宅療養する場合、発症から数えて2日および症状消失後より数えて3日間は活動を休むことを推奨します。症状が悪化、あるいは2日間の症状持続が見られた場合には速やかに「帰国者・接触者相談センター」や医師会、診療所等に相談してください。
- ・体調不良者は、体調不良であることをチーム感染対策責任者に報告をしてください。また、チーム感染対策責任者は福岡県高体連専門部委員長に報告をしてください。
- ・体調不良者は発症から数えて2日および症状消失後より数えて3日間は活動を休み、自宅療養することを推奨します。
- ・症状消失後3日間は自宅療養とする新型コロナウイルス感染に対する一般方針があります。感染していたとしてもウイルスの排出量が少なくなり感染リスクを下げるができるためです。
- ・症状消失後4日目に活動を再開したとしても、コンディション調整・感染リスク低減のために、4~6日目までは個別トレーニングを行い、7日目以降に体調を考慮しながらチーム活動に段階的に復帰することを推奨します。

(2) 上記の目安に該当する体調不良者が出た場合のチーム活動

- ・発症の前日または前々日までチーム活動があった場合、体調不良者(陽性か陰性かが判断できない)と接触しているため、チーム活動を最低2日間行わないことを推奨します。
- ・前日、前々日とチーム活動がなかった場合(48時間以上接触がないといえる場合)、他に体調不良者が存在しないことを確認後、チーム活動を行っても構いません。

- ・活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間での誹謗中傷の防止に努めてください。

(3) 本大会前に有症状がある場合の参加の是非について

- ・本大会参加 2 週間前からの健康チェックを行っているが「2 週間の間にチームメンバーにコロナウイルス感染症疑いの有症状があっても、一律にチームが出場不可とするものではない」とこととします。理由は、陽性者及び濃厚接触者の隔離期間の変更(短縮されたこと)によります。
- ・本大会においても、該当チーム試合開始日の4日前からの体調不良(有症状)者が出た場合には、上記の内容を原則とし、チームの大会参加の可否については、当該校所属長の判断を仰いでください。

3)陽性者が出た場合の対応

(1) 陽性者本人の対応

- ・陽性者は、保健所の指示に従って、療養(原則入院またはホテル隔離(自宅待機の場合あり))を行ってください。
- ・2 週間の行動記録提出、感染対策内容調査等がなされる場合があります。
- ・検査結果、医療機関もしくは保健所から指導された療養方法とその他指導などの情報を所属チームや所属校に共有してください。
- ・陽性と判定された方が退院(入院・自宅宿泊療養)できるのは、厚生労働省の基準によります。
【厚生労働省退院基準・解除基準の改定】 <https://www.mhlw.go.jp/content/000639696.pdf>
- ・療養終了後(日数は症状により異なる)は、トレーニング再開ガイドラインなどを参考に、ケガ防止を考慮しながら徐々に活動量・強度を増やすようにしてください。

(2) 陽性者が所属するチームの対応

- ・所属長(学校の場合)、福岡県高体連専門部ブロック委員長へ報告してください。
- ・保健所の指示に従って濃厚接触者の特定及び感染拡大に対するリスクの管理を行ってください。
- ・陽性者の症状が出た時点から 48 時間前までにチーム活動があった場合は、保健所による濃厚接触者の選定が決定されるまでは、チーム活動を自粛してください。
- ・保健所により濃厚接触者が特定された場合、陽性者/濃厚接触者以外のメンバーで活動を再開することは可能です。但し、保健所や自治体の指示がある場合はこれに従ってください。
- ・陽性者の症状が出た時点から 48 時間前までにチーム活動がなかった場合は、チーム活動を実施することは可能です。但し、保健所や自治体の指示がある場合はこれに従ってください。
- ・活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間での誹謗中傷の防止に努めてください。

4)濃厚接触者が出た場合の対応

(1) 濃厚接触者と特定された選手・スタッフ本人の対応

- ・濃厚接触者は、保健所の指示に従って、自宅待機・隔離等の対応を取ってください。
- ・2 週間の行動記録提出、感染対策内容調査等がなされる場合があります。
- ・検査結果を所属チームや所属校へ報告をしてください。
- ・チーム内の陽性者との濃厚接触の場合か、チーム外の陽性者との濃厚接触の場合かを確認してください。
- ・療養終了後(日数は症状により異なる)は、ケガ防止のためにも段階的に活動再開するようにしてください。

(2) 濃厚接触者が選手・スタッフに出たチームの対応

- ・所属長(学校の場合)、福岡県高体連専門部ブロック委員長へ報告してください。

- ・ チーム外の陽性者との接触によって濃厚接触者となった場合で該当の濃厚接触者が無症状である場合、濃厚接触者認定日から48時間(次の日から最低2日間)はチーム活動を制限してください。
- ・ 該当の濃厚接触者に発熱や感染症状がある場合は、検査結果が出るまで(または隔離解除となるまで)はチーム活動を自粛してください。
- ・ チーム外の陽性者との接触によって濃厚接触者となった場合、判明前48時間以内にチーム活動を行っていない場合は活動を自粛する必要はありません。(該当の濃厚接触者が発症の有無にかかわらずPCR検査で陽性となった場合、発症日からさかのぼって48時間チーム活動を行っていない場合は誰も濃厚接触者に該当しないため)
- ・ 活動の停止や大会参加への自粛が行われる場合、このことに対してチーム内、チーム関係者、保護者等の間での誹謗中傷の防止に努めてください。

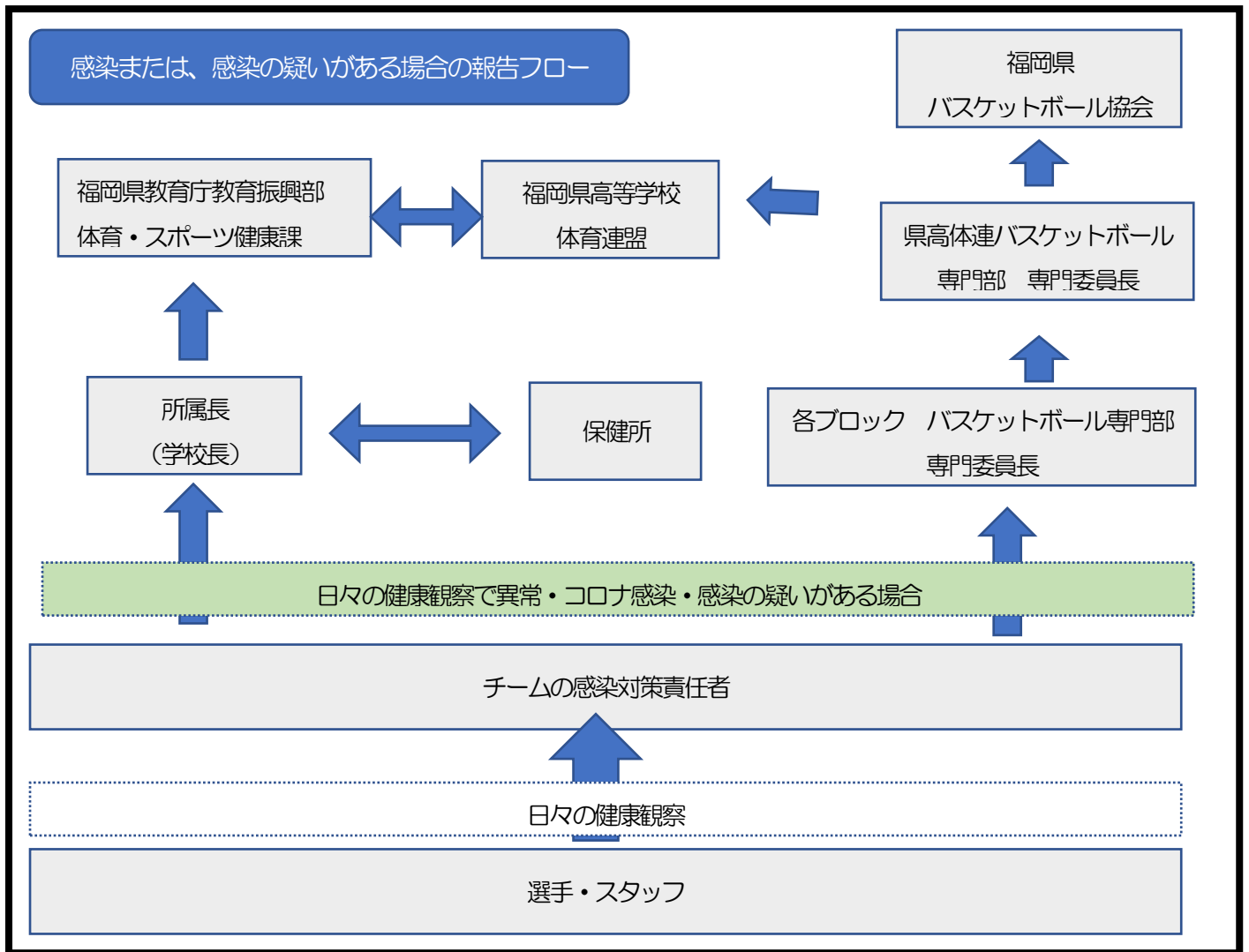
(3) 選手・スタッフの同居家族、同居者が濃厚接触者と特定された場合の対応

- ・ 選手・スタッフの同居家族や同居者がチーム活動以外の場によって濃厚接触者と判定された場合、選手・スタッフは濃厚接触者には該当しないため特別な制限はありません。
- ・ ただし、濃厚接触者に感染が疑わしい症状を認めた場合は、選手・スタッフは自宅待機を行い、症状出現時は体調不良者の対応と同様に「帰国者・接触者相談センター」(地域によっては医師会や診療所等)に相談してください。

(4) 濃厚接触者の待機期間

- ① 3月16日(3月22日改訂)資料(※6)によるとオミクロン株の特徴を踏まえて、検査を組み合わせた待機期間の短縮を可能としている。
- ② 同一世帯内や事業所、ハイリスク施設、保育所・幼稚園・小学校など子どもが関わる施設、クラスターが発生した場合の5つの項目別に記載されている。
- ③ 濃厚接触者の待機期間は、感染者との最終曝露日(同一世帯内であれば、適切な感染対策を講じた日)から7日間(8日目解除)とするが、4日目及び5日目の抗原定性検査キットを用いた検査で陰性を確認した場合は5日目で待機を解除することができる。但し7日間経過までは体調管理・健康観察を継続してマスクを着用、さらに会食を避けるなどの一般的感染拡大防止を徹底することが前提である。なお3月16日資料はスポーツ以外の事業を対象にしているため、本内容をより感染リスクが高いスポーツの実践(特にマスク着用が困難である場合)においてはより慎重な対応を要すると考えられる。大会の開催時においては、その解釈と運用について各大会要項に記載するなど、大会参加者間での情報共有を徹底してください。
- ④ 適宣、扱いは変更される場合がありますので、最新情報を元に対応を検討してください。

※6【資料】2022年3月16日(3月22日改訂)厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部「B.1.1.529系統(オミクロン株)が主流である間の当該株の特徴を踏まえた感染者の発生場所毎の濃厚接触者の特定及び行動制限並びに積極的疫学調査の実施について」



※「JBA(公益財団法人日本バスケットボール協会)バスケットボール事業・活動実施ガイドライン(手引き)第5版を参考に作成しています。